

30 タツグレースの16

美 浦
入厩予定

全400口 1口35,000円(総額:1,400万円)

父 ベーカバド
牡 黒鹿毛 2016年3月31日生まれ 猿橋義昭



母の父

***ボストンハーバー**
米産、米2歳牡馬チャンピオン、北米6勝、BCジュヴェナイル-G1(8.5F)、プリーダース フューチュリティ-G2(8.5F)。主な産駒 ヘルシー アディクション(サンタマルガリータ招待H-G1)、*ワンダフルデイズ(クリスタルC-JPN3)。母の父としてオフ ザトラックス(マザー グースS-G1)、マイ スウィート アディクション(ヴァニティS-G1)、ベルカント(フィリーズレビュー-G2)を出す

母系

母**タツグレース**(03 *ボストンハーバー) 1勝。本馬は第7仔。産駒
 ハッピーエンド(10 牝 鹿 *プリサイズエンド) 南関東公2勝
 ミズサンゼウス(15 牡 栗 *トビーズコーナー) 岩手公1勝、[Ⓜ]
 祖母 ***カウンティングレインボーズ** Counting Rainbows(85 Halo) 米産、
 不出走。産駒
リターン オブ マム Return of Mom(牝 Deputy Minister) 北米5勝、
 Coral Gables H-L 2着, Capades Breeders' Cup H 2着, ディスタフ
 H-G2 4着。産駒
レモンドロップ マム Lemon Drop Mom(牝 Lemon Drop Kid) 北
 米6勝, Go for Wand S-L, Winter Melody S, Ghost and
 Goblins S, パーソナル エンズン S-G1 2着, デラウェアH-G2 2
 着, ベルデイル S-G1 3着, オペアー S-G3 3着
サラガロ Saraguaro(牡 Express Tour) 北米3勝, Florida Sire
 Foolish Pleasure S, Millions Classic Preview S
 マジェスティック エクスプレス Majestic Express(騾 Express
 Tour) 北米10勝, Montbrook S 3着
 アリトル ポーク A Little Poke(牝 Pleasant Tap) 北米2戦。産駒
 トリプル ナイン Triple Nine(牡 Ecton Park) 韓国年度代表
 馬, 韓国11勝, President's Cup(2回)
レイニング レインボーズ Raining Rainbows(牝 Crafty Prospector) 北
 米4勝, レイディーズH-G2 4着
 モニュメントバレー(牝 Deputy Minister) 5戦。産駒
 デンザンモビール(牡 *フォーティナイター) 3勝, 富嶽賞, 佐賀公1
 勝
 ハッピートーク(牝 *アグネスデジタル) 入着, 岩手公11勝。産駒
 ダズンフラワー(牝 *バトルブラン) 岩手公2勝, ジュニアグラン
 プリ, オパールC 2着, 若鮎賞3着, [Ⓜ]
 曾祖母**シュヴィー** Shuvee(66 Nashua) 米古牝馬チャンピオン, 北米16勝, ジ
 ョッキー クラブ ゴールド カップ S(2回), C C A オークス。産駒
トム スイフト Tom Swift: 北米3勝, セネカH-G3。種牡馬

***ベーカバド**
Behkabad(FR)
鹿 2007年

ケープクロス
Cape Cross(IRE)
黒鹿 1994年

グリーン デザート
Green Desert
Danzig
Foreign Courier

ベーカラ
Behkara(IRE)
鹿 2000年

パーク アピール
Park Appeal
Ahonoora
Balidaress

クリス
Kris
Sharpen Up
Doubly Sure

ベヘラ
Behera
Mill Reef
Borushka

*ボストンハーバー
Boston Harbor(USA)
鹿 1994年

カボウティ
Capote
Seattle Slew
Too Bald

ハーバー スプリングス
Harbor Springs
Vice Regent
Tinnitus

*カウンティングレインボーズ
Counting Rainbows(USA)
黒鹿 1985年

ヘイロー
Halo
Hail to Reason
Cosmah

シュヴィー
Shuvee
Nashua
Levee

Northern Dancer 5S×5D

CHECK POINT

父ベーカバドは芝2400mの仏G1
 バリ大賞典を勝利しました。長距離
 馬でしたので無駄肉の付かない産駒
 が多い印象です。産駒に地方の活躍
 馬が多いのはヨーロッパのスピード
 が日本の競馬に適していないことを
 証明していますが、中にはスピード
 があり先行力を活かして芝で活躍す
 る馬もいます。札幌のクローバー賞
 を勝ったダブルシャープが良い例で
 しょう。本馬も繊細な筋肉を持ち、
 芝でもスピードを活かした競馬がで
 きるはずです。

